

2022年8月29日

各位

株式会社三井住友銀行

## ニプロ株式会社への「ソーシャルローン」の組成について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、ニプロ株式会社（代表取締役社長：佐野 嘉彦）に対し、シンジケートローン形式及び相対形式のソーシャルローン（以下、「本ローン」）を契約いたしました。

ソーシャルローンは、企業等が社会問題の解決に貢献する事業（以下、「ソーシャルプロジェクト」）に要する資金を調達する際に用いられる融資であり、具体的には、①調達資金の使途がソーシャルプロジェクトに限定され、②調達資金が確実に追跡管理され、③それらについて融資後のレポートニングを通じ透明性が確保されたものを指します。

ニプロ株式会社は、1954年設立以来、「事業活動を通じた社会貢献」の実現を目指し、技術革新をコンセプトに事業を展開しており、現在は医療機器事業、医薬事業、ファーマパッケージング事業を三位一体として展開する総合医療メーカーです。「真にグローバルな総合医療メーカー」として「未来に向かって、世界の人々の健康を支え、医療ニーズに応える商品、技術及び事業の創造革新を行い、社会に貢献し、自己実現を図る」ことを経営理念に掲げています。

本ローンで調達される資金は、ニプロ株式会社が策定した「ソーシャルファイナンス・フレームワーク」（以下、「本フレームワーク」）で定められたソーシャルプロジェクトに充当される予定です。すべての事業に共通するのは、医療サービスのエンドユーザーの声に真摯に向き合い、日本をはじめ様々な地域・領域において医療課題の解決と自社の成長の両立を目指すことであり、対象事業を通じて、直接的には安心、安全な医薬品・医療機器の安定供給がなされることや患者にとっては生命維持やQOL（Quality Of Life）が向上する等の成果があり、間接的には、主に医療提供側にとって医療事故低減や労働環境改善といった成果があります。これらは、経営理念及び行動指針に示されているように、あらゆる医療ニーズに応えられる「真にグローバルな総合医療メーカー」となることを目標に医療へ貢献し、社会との共通価値の創造、ひいては人々が健康で暮らすという大きな社会的課題に資するものです。

本フレームワークは、国際資本市場協会（ICMA：International Capital Market Association）にて策定された「ソーシャルボンド原則2021」との適合性について、第三者機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）から「セカンドオピニオン」を取得しています。

SMBCグループでは2021年7月27日に「SMBC Group GREEN Innovator」のコンセプトを公表し、社会のサステナビリティをお客さまとともに実現するためのサービス・商品の提供に一層注力してまいります。また、株式会社三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成にも一層貢献を行ってまいります。

## 【本ローンの概要】

契約締結日	2022年8月29日
実行日	2022年8月31日
貸付形式	シンジケートローン形式及び相対形式
アレンジャー兼エージェント	株式会社三井住友銀行
組成金額	総額105億円（シンジケートローン95億円、相対10億円）
契約期間	5年及び10年

(参考)

ニプロ株式会社ホームページ：

<https://www.nipro.co.jp/>をご参照下さい。

ソーシャルファイナンス・フレームワーク概要：

[https://www.nipro.co.jp/news/document/210909\\_framework.pdf](https://www.nipro.co.jp/news/document/210909_framework.pdf)をご参照下さい。

株式会社格付投資情報センター（R&I）による「セカンドオピニオン」の詳細：

[https://www.nipro.co.jp/news/document/210909\\_opinion.pdf](https://www.nipro.co.jp/news/document/210909_opinion.pdf)

をご参照下さい。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

サステナブルソリューション部

TEL：03-4333-6966

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。